

爲奈真人同祖、火焰親王之後也。天智天皇御世、依居賜川原公姓。日本紀漏

〔藤原家傳〕上内大臣諱鎌足、字中郎、大倭國高市郡人也。其先出自天兒屋根命、世掌天地之祭、相和人

神之間、仍命其氏曰中臣。略○中大臣以豐御食姬天皇古○推廿二年歲次甲戌生於藤原之第。略○中即位

二年冬十月、稍纏沈痼、遂至大漸帝。智○天臨私第、親問所患。略○中仍授大織冠、以任内大臣、改姓爲藤原

朝臣。

〔日本書紀〕二十七八年十月庚申、天皇遣東宮大皇弟武○天於藤原内大臣足○鎌家、授大織冠與大臣位、

仍賜姓爲藤原氏。

〔多々良問答〕一臣下姓事

源平藤橘、此四姓ヲ高貴ノ姓トシテ候也、藤氏モ姓ハ中臣ノ段、勿論候、藤氏を本と心得べき事にて候、其故は、入鹿大臣を可被誅之由を大織冠に御勅諭にて成就候藤

也、藤原ハ所ノ名也、見國史、又藤原、允恭ノ御時、ソトナリ姫居處ヲ藤原ト云、然レバ今更ノ儀ニテナシ、見日本紀、

の陰にて被仰合によりて藤原と姓を給らせ給ふ、多は中臣、大中臣、江家などわかれくだりて、其

數多候、神家に中臣卜部など始とすと被仰聞候キ、如何、此分ニ明

〔古事記傳〕三十四藤原は地名なり、大和國高市郡大原村是なりと云り、さもあるべし。大原村今

あたりに鎌足大臣の舊跡とあり、万葉一に、天皇賜藤原夫人御歌、吾里爾、大雪落有、大原乃、古爾之卿

云傳へたる處なごもあり、爾、卷者後、天皇は、天武天皇なり、藤原夫人は、鎌足大臣の御女にて、万葉八に、字曰、大原、大刀自

給へるなるべし、十一卷の歌にも、大原の古にし、里さあり、鎌足大臣の本居、此大原な

る故に藤原と云姓は賜へるなり、されば大原即藤原なること、彼此につきて著也、

〔新撰姓氏錄〕大和國皇別布留宿禰

柿本朝臣同祖、天足彥國押人命七世孫、米餅搗大使主命之後也、男木事命、男市川臣、大鷦鷯天皇仁

德御世、達倭賀布都努斯神社於石上鄉布瑠村高庭之地、以市川臣爲神主、四世孫額田臣、武藏臣、齊

明天皇御世、宗我蝦夷大臣、號武藏臣、物部首并神主首、因茲失臣姓爲物部首、男正五位上日向、天武

天皇御世、依社地名、改布留宿禰姓、日向三世孫邑智等也。